株式会社 GSユアサ

お問い合わせは　広報室
〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町１番地
TEL. 075-312-1214　FAX. 075-316-3115　http://www.gs-yuasa.com/gyp/jp

News Release

2012年10月4日
株式会社 GSユアサ

東武鉄道殿に1800kW出力の回生電力貯蔵装置を納入
～ リチウムイオン電池搭載システムで電車が使用する電力量を削減！ ～

株式会社 GSユアサ（社長：依田 誠、本社：京都市南区。以下、GSユアサ）は東武鉄道株式会社（社長：根津嘉澄、本社：東京都墨田区。以下、東武鉄道）殿に1800kW出力（360kW×5ユニット）の回生電力貯蔵装置E^{3}Solution System＜イースリー ソリューション システム＞を納入しました。本装置はコンバータとリチウムイオン電池を1ユニットとして構成しており、5ユニットを並列接続して最大1800kW（ユニット当たり360kW）の電力を吸収・放出するシステムです。

E^{3}Solution System＜イースリー ソリューション システム＞（回生電力貯蔵装置）は、東武東上線の上福岡駅構内にある上福岡き電区分所に設置され、7月に運用を開始しました。本システムは、電車の制動時に発生する回生電力をコンバータを介してリチウムイオン電池に貯蔵し、電車の加速時に貯蔵した電力を供給することで電力を有効活用し、架線電圧を安定化させる機能を担っています。この回生電力の有効活用による架線電圧の安定化は、電車の安全運行の確保を実現するとともに、電車使用電力量の削減による省エネルギー対策への有効手段です。東武鉄道殿は、新型車両導入やダイヤ変更によるピーク時の負荷増加への対応として、本システムを選択、導入されました。

GSユアサグループは、1990年代から宇宙用途など特殊な用途向けに大型リチウムイオン電池の出荷を開始し、2006年にはリチウムイオン電池を用いた鉄道用電力貯蔵装置を発売しております。さらに2009年からEV、HEVなど車載用リチウムイオン電池の量産出荷を開始し、現在ではディーゼル・ハイブリッド機関車等の鉄道用途をはじめとする産業用大容量システムなどの用途に、安全で高品質な製品の供給を続けています。今後も、GSユアサグループは蓄電池を活用したシステムを普及させることにより、省エネルギー社会に貢献してまいります。

【E^{3}Solution Systemの仕様】

項目	内容	備考
定格容量（kW）	1800	360kW×5ユニット
最大充放電電流（A）	1200	架線側直流1500V
寸法（mm）	3400×1680×2600 （W×D×H）	1ユニット
使用電池モジュール形式	LIM30H－8A	8セルモジュール
電池数量	24モジュール直列×5ユニット並列	960セル

【写真】

1．上福岡き電区分所に設置された回生電力貯蔵装置「E^3Solution　System」

2．リチウムイオン電池モジュール「LIM30H－8A」写真

［この件に関するお客様からのお問い合わせ先］
株式会社 GSユアサ　新エネルギー本部　TEL 03－5402－5816
［この件に関する報道関係からのお問い合わせ先］
株式会社 GSユアサ　広報室　　TEL 075－312－1214